

Surgery for aortic regurgitation and aortic root dilatation in Takayasu arteritis

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 加久, 雄史 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032086

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2957 号	氏 名	加久 雄史
審 査 委 員 会	主 査 教 授	岡本 高宏	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>高安動脈炎に伴う大動脈弁閉鎖不全に対する外科治療の成績を後向き観察研究により検証した論文である。対象 (大動脈弁閉鎖不全症を発症した高安動脈炎患者)、施行した術式 (大動脈弁置換術、大動脈基部置換術)、観察したアウトカム (術後 30 日以内の早期死亡、遠隔期死亡) は明確である。ただし高安動脈炎に伴う大動脈弁閉鎖不全はあっても外科治療を受けない症例もあると思われ、対象がどのように選ばれたかを記載することは研究の内的・外的妥当性を高めるうえで大切である。また、アウトカムは点推定値だけでなく区間推定値を示すことが望ましい。</p> <p>高度専門施設において 20 年間に 20 例、22 手術と極めて希少な疾患経験であることからその治療成績を示した本研究は今後の臨床に役立つ重要な成果であり、学位論文として価値のあるものと認める。</p>			
本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]			